

2019年

1月号No. 95

毎月6日発行



原水協通信 (茨城版)

原水爆禁止茨城県協議会 〒310-0912 茨城県水戸市見川5-127-281 茨城平和会館内
TEL/FAX 029-251-9919 e-mail antiatom-i@email.plala.or.jp 会長 加藤 岑生

原水協通信
頒価¥220/月

核兵器廃絶署名
41, 622筆
(18.12/25)

明けまして
おめでとうございます
己亥（つちのと・い）

正月は 冥土の旅の 一里塚

ありがたくもあり ありがたくもなし （一休）

※ 昔は年齢を数え年で言いました。つまり、生まれたらすぐに一歳、その後は正月が来るたびに一つ加えます。ですから、大晦日に生まれたら元旦には二歳に。



年末のお祓いで原発廃炉を



夜明け前の筑波山（裏筑波）

12月11日被爆者援護連帯
茨城県募金行動
年末署名行動水戸駅南口
ペデストリアン・デッキ

茨城県議選の疲れも癒えぬ12日の正午から1時まで、原水協と新婦人が合同で今年最後の署名行動をしました。天候には恵れましたが、選挙の後始末もあり、参加者は県原水協から3名、新婦人水戸支部から3名の6人。人通りも少なかったせいか署名筆数は合計で17筆。新婦人は署名と同時に「赤紙」配りもししていました。

私たちの隣りで、「コンドル…」「花祭り」をケーナやサンポーニャなどで熱演するペルー人男性の音楽を聴きながらの署名行動でした。また年配の女性と対話になり、「昔っから自民党は嫌いっ！」と言いつつ財布から5千円札を手渡してくれました。この日の被爆者募金総額は7,306円でした。署名の後は演奏していた男性に私たちの行動内容を簡単に説明し交流、一緒に集合写真に収まりました。

2019/1/6 12:00～新春恒例署名

水戸駅南口ペデストリアンデッキ
※ 今年最初の署名行動です。安倍内閣は、無法の限りを尽くしています。まさに今、これを食い止めなくては「お先真っ暗」。最後の総仕上げは、いよいよ憲法「改正」です。人間が鬼になってしまう。それが「戦争」です。署名行動に、奮ってご参加下さい。

☆被爆者との昼食懇談会の開催☆ 1月24日(木)12時～2時半 みまつホテル
会費：3,000円程度 被爆者は無料招待。(連絡先：県原水協まで)



写真（上）署名する方たち
（右上）仲間たちと
（右下）コカリナとケーナ



今月の草花

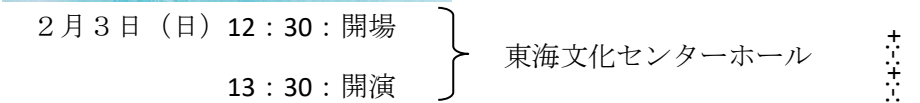


我が家の裏庭に出現したカンワラビ。人参のような葉を持っている。
撮影（柳）

カンワラビ（寒蕨）別名…冬の花蕨
盆栽や茶花として、床の間を飾ります。我が家の裏に、この寒さにもめげず自然に出てきます。草丈10cm。名前は「ワラビ」でもワラビ科ではなく、ハナヤスリ科で、食用には向きません。生薬に利用。

東海村から朗読劇のお知らせ

西日本豪雨災害復興支援



☆日本を非核平和の方向に変え、安倍 9 条改憲を許さず、憲法を守り活かし、禁止条約に参加する政治の実現をめざす全国的な結集の場。

昨年は、その年を代
 表する漢字一文字に
 「災」が選ばれまし
 た。連想する言葉は
 「わざわざ転じて福と
 なす」「か福はあざな
 える縄のごとし」。太
 文字はどちらも「災」
 でなく「禍」を用いま
 すが、意味はほとんど
 同じです。2019